

令和3年3月12日

第52回埼玉文芸賞の決定 —今年度の力作をお知らせします—

県教育委員会では、県内における文芸活動の振興を図るため、昭和44年に埼玉文芸賞を創設し、文芸各部門の創作活動において特に優れた作品を顕彰しています。

埼玉文芸賞選考委員会の推薦に基づき、埼玉文芸賞（1点）、同準賞（12点）、同奨励賞（4点）について、次のとおり決定しました。

なお、受賞作品は「文芸埼玉」第105号（令和3年6月刊行予定）で掲載又は紹介します。

1 第52回埼玉文芸賞の主な特徴

(1) 幅広い年齢層からの応募

「小説・戯曲部門」「文芸評論・エッセイ・伝記部門」「児童文学部門」「詩部門」「短歌部門」「俳句部門」「川柳部門」の7部門に合計420点の作品が寄せられました。（前回より57点増加）

応募者の年齢は、最年少が15歳（「小説・戯曲」「詩」の2部門）、最高齢が94歳（俳句部門）でした。

(2) 高校生4名に奨励賞を贈呈

高校生世代からは「小説・戯曲」「文芸評論・エッセイ・伝記」「詩」「俳句」の4部門に合計11点の応募があり、各部門から1点が、若手を対象とする奨励賞に選ばれました。

2 受賞者及び受賞作品

（「 」は生原稿・雑誌掲載作品、『 』は単行本）

(1) 埼玉文芸賞

【詩部門】

『不時着』 峯尾 博子（みねお ひろこ）

○受賞の言葉

受賞の連絡をいただき大変嬉しく思います。これを励みに自らの詩世界をさらに豊かなものにしてゆきたいと思います。

○略歴

詩作の始まりは、市内の詩サークル参加。

平成20年第一詩集『エイダに七時』で、第39回埼玉文芸賞準賞受賞。
平成27年第二詩集『交信』で、第21回埼玉詩人賞、第46回埼玉文芸賞準賞受賞。

所属 日本現代詩人会 日本詩人クラブ 埼玉詩人会 会員
「花」「晨」同人
受賞作は、第三詩集にあたる。

(2) 埼玉文芸賞準賞

【小説・戯曲部門】

「夕(ゆう)あかね二人」 堤 宣子(つつみ のぶこ)
「「真珠」箋(せん)」 あきいけ よう子

【文芸評論・エッセイ・伝記部門】

「生かされている、命」 柳沢 旭日(やなぎさわ あさひ)
「北武蔵のふたり」 米山 長七郎(よねやま ちょうしちろう)

【児童文学部門】

「風はどっちに吹いてる？」 ひだか ひろし
「さいたま天狗物語」 近藤 英明(こんどう ひであき)

【短歌部門】

『オストメイトの闘ひ』 井上 武司(いのうえ たけし)
『光のつぶ』 森 暁香(もり さとか)

【俳句部門】

『雪つぶて』 龍野 龍(りゅうの りゅう)
『天守』 阿部 怜児(あべ れいじ)

【川柳部門】

「夕映えの芒(すすき)」 人見 五郎(ひとみ ごろう)
「笑顔」 岡田 孝道(おかだ こうどう)

(3) 埼玉文芸賞奨励賞

【小説・戯曲部門】

「虹」 香坂 真尋(こうさか まひろ) 埼玉県内高等学校在学

【文芸評論・エッセイ・伝記部門】

「幸せの多様性」 石口 瑠花(いしぐち るか) 埼玉県内高等学校在学

【詩部門】

「紺碧」 浦野 恵多(うらの けいた) 埼玉県内高等学校在学

【俳句部門】

「一家の日常」 大友 結（おおとも ゆい） 私立星野高等学校在学

3 選 評

各部門の選評は別紙のとおりです。

4 選考委員（50音順）

【小説・戯曲部門】 相澤与剛 北原立木 高橋千劔破

【文芸評論・エッセイ・伝記部門】 佐藤健一 杉浦晋 野村路子

【児童文学部門】 天沼春樹 金治直美 櫻沢恵美子

【詩部門】 北岡淳子 鈴木東海子 野村喜和夫

【短歌部門】 大河原惇行 沖ななも 外塚喬

【俳句部門】 岩淵喜代子 落合水尾 尾堤輝義

【川柳部門】 酒井青二 相良敬泉 四分一周平

5 その他

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、賞状等の贈呈式は中止します。

6 問い合わせ先

文化資源課文学担当（さいたま文学館駐在） 民本

〒363-0022 桶川市若宮1-5-9

電話 048-789-1515 Fax 048-789-1517

ホームページ <http://www.saitama-bungakukan.org/>